

請願第1号 「後期高齢者医療費窓口の2割負担の中止を求める意見書」の
提出に関する請願に対する報告書

請願者 福知山市字大内565

全日本年金者組合 京都・福知山支部 支部長 堀 昭子 氏 ほか1名
紹介議員 金澤栄子議員、吉見純男議員

1 請願の要旨及び目的

政府は昨年12月15日、75歳以上の高齢者で課税所得が28万円以上かつ単身世帯で年収が200万円以上（複数世帯の場合、年収合計が320万円以上）の医療費窓口負担を2022年後半から2割に実施することを閣議決定した。

75歳以上の高齢者は、病気や怪我をすることが多く、治療が長期化するケースが多々あり、全国で約370万人、福知山市で約2,200人の高齢者の窓口負担が2割となる。

特に新型コロナウイルス感染拡大に対する高齢者の生活と健康に対する不安が高まっている時期に、医療費負担を増やすことは高齢者にとって命にかかわる問題であり、現在でも経済的事情で医療機関の受診をためらい重篤化するケースが報告されている。

については、安心して医療にかかれる環境が高齢者には特に必要であることから、医療費窓口負担を2割にすることについて、国に中止を求める意見書の提出を求める。

2 請願の議決理由

本委員会は、当請願に関し3月10日に委員会を開催し、慎重に審査した結果、次の結論に達した。

採択とする討論

- ・年金の減少など、高齢者の生活苦も続く中、75歳以上の窓口負担が2割になれば、経済的理由により、ますます必要な医療を受けられなくなってしまう。医療費の負担増は高齢者の健康と命を脅かす。高齢者が安心して暮らすためにも、75歳以上の後期高齢者医療費の窓口2割負担の中止を国に求める意見書を求める本請願の願意に賛同する。

不採択とする討論

- ・2022年には団塊の世代が75歳以上になる中、後期高齢者医療がひっ迫し、さらに若い人たちに負担がのしかかる可能性がある。また、激変緩和措置として3年間は月々の負担額の増加額について、3千円以内に抑えられるという緩和措置も予定されている。持続可能な社会保障制度を守っていくためにも、本請願の願意には賛同し難い。

採決 賛成少数で不採択

本請願の願意については添いがたく、よって不採択と決した。
以上、報告する。

令和3年3月29日
福知山市議会議長 芦田 眞弘 様

福知山市議会総務防災委員会
委員長 森下 賢司